

創業計画書【記入例】

お名前 株式会社〇〇〇〇

この書類は、ご面談にかかる時間を短縮するために活用させていただきます。お手数ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
 なお、本書類はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。
 ・お手数ですが、可能な範囲でご記入いただき、借入申込書に添えてご提出ください。
 ・この書類に代えて、お客さまご自身が作成された計画書をご提出いただいても結構です。

創業のきっかけ、経歴、技術、事業の特徴などのポイントを記入してください。

[平成〇年〇月〇日作成]

1 創業の動機

業種	ソフトウェア開発業	創業(予定)時期	平成〇年〇月
創業されるのは、どのような目的、動機からですか。	・勤務時代にソフトウェアの企画開発・製作・販売・運用・管理一貫して携わっていた経験を生かしたい。 ・元勤務先などからの支援もあり、事業の見通しが立ったため。		

2 事業の経験等

過去にご自分で事業を営んでいたことはありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を営んでいたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがありますが、既にその事業をやめている。(⇒ やめた時期: 年 月)		
この事業の経験はありますか。(お勤め先、勤務年数など創業に至るまでのご経歴)	年月	略歴・沿革	
	平成〇年〇月	〇〇工科大学卒	
	平成〇年〇月～	(株)〇〇システム(ソフトウェア開発業)7年勤務	
	平成〇年〇月～	〇〇データ(株)(ソフトウェア開発業)12年勤務 (医療関連事業部プロジェクトリーダーを務める)(当時の月給40万円)	
	平成〇年〇月	退職(退職金200万円)	
	現在	創業準備中	
取得されている資格	特 (ソフトウェア開発技術者資格(平成〇年〇月取得))・特になし		
創業される方(法人の場合、代表者の方)の現在のお借入の状況(事業資金を除きます。)	お借入先名	お使いみち	お借入残高
	〇〇銀行△△支店	国・車・教育・カード・その他 住宅・車・教育・カード・その他 住宅・車・教育・カード・その他	2,544万円 万円 万円
			132万円 万円 万円

3 取扱商品・サービス

お取扱いの商品・サービスを具体的にお書きください。	①介護施設・医療施設向け顧客・財務管理システム開発(300万円～1,000万円/件 開発期間3ヵ月～半年ほど) (売上シェア 80%) ②医療関連施設のソフトウェア開発(〇〇データ(株)からの業務移譲) (売上シェア 20%) 平成〇年〇月〇日契約締結(契約期間 平成〇年〇月〇日～)
セールスポイントは何ですか。	・介護・医療関連のシステム開発の知識を活かし、システム開発の提供だけでなく、運用に関するコンサルティングも行う。

4 取引先・取引条件等

販売先	取引先名(所在地等)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件	・販売先・仕入先との結びつきがあれば記入しましょう。契約書・注文書などがあれば添付してください。 ・販売・仕入条件について確認しておく必要があります。立地選定理由についても触れましょう。
	〇〇データ(株)(〇〇区〇〇)	70%	100%	請求月末日 翌末日回収	
	医療法人〇〇会(〇〇区〇〇)	30%	100%	請求月末日 翌末日回収	
仕入先		%	%	日 日支払	
	〇〇/ノ(株)(〇〇区〇〇)	50%	100%	請求月末日 翌末日支払	
	(株)△△データ(〇〇区〇〇)	50%	100%	請求月末日 翌末日支払	
従業員等	常勤従業員の数(法人の方のみ)	2人		人件費の支払	末日翌25日支払
	従業員数(うち家族)	1人(0人)			(ボーナスの支給月 6月、12月)
	パート・アルバイト	0人			

5 必要な資金と調達の方法

必要な資金	金額	調達の方法	金額
店舗、工場、機械、備品、車両など(内訳)	690万円	自己資金	550万円
・パソコン・サーバー等一式(〇〇社見積のとおり)	500	親、兄弟、知人、友人等からの借入(内訳・返済方法)	万円
・事務機器(〇〇社見積のとおり)	70		
・備品類(〇〇社見積のとおり)	20	日本政策金融公庫 国民生活事業からの借入	500万円
・保証金	100	元金6万円×84回(年〇〇%)	
見積書などを添付してください。		他の金融機関等からの借入(内訳・返済方法)	500万円
		〇〇銀行	
商品仕入、経費支払資金など(内訳)	860万円	元金6万円×84回(年〇〇%)	
・外注費支払	270		
・諸経費支払	590	金額は一致します。	
(システム開発に、最短でも3ヵ月かかるため、つなぎ資金が必要)			
合計	1,550万円	合計	1,550万円

6 事業の見通し(月平均)

	創業当初	軌道に乗った後(〇年〇月頃)	売上高、売上原価(仕入高)、経費を精算され
売上高①	300万円	390万円	<創業当初> ①売上高 300万円/件×1件=300万円(受注契約書あり) ②原価率(外注費) 30%(勤務時の経験から) ③人件費 代表者1人、役員1人、従業員1人 (代45万円+(後)30万円+(給25万円=100万円) 家賃 20万円 支払利息(内訳) 500万円×年〇〇%÷12ヵ月=〇万円 500万円×年〇〇%÷12ヵ月=〇万円 計3万円 その他燃料費、消耗品費等 75万円
売上原価②(仕入高)	90万円	117万円	
人件費③	100万円	140万円	<軌道に乗った後> ①創業時の1.3倍は可能(勤務時の経験から) ②当初の原価率を採用 ③人件費 従業員1人増、役員報酬・従業員給与増額 計40万円増 その他諸経費 20万円増
家賃	20万円	20万円	
支払利息	3万円	3万円	
その他	75万円	95万円	
合計③	198万円	258万円	
利益①-②-③	12万円	15万円	

人件費は、従業員数もわかるようにしてください。

支払利息(月間)は、「借入金×年利率÷12ヵ月」で算出します。

ほかに参考となる資料がございましたら、計画書に添えてご提出ください。

(日本政策金融公庫 国民生活事業)